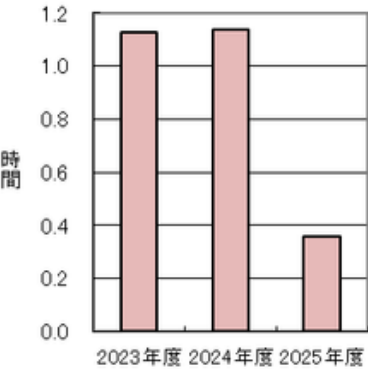




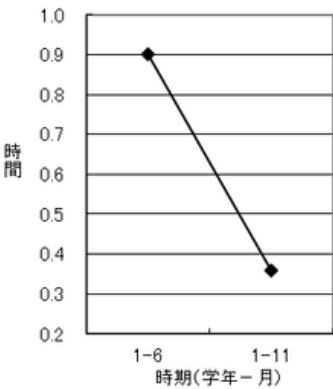
第2回 生活時間帯調査 (11月7日実施)

	睡眠時間	学習時間	国語学習時間	数学学習時間	英語学習時間	部活動数(人)	部活動時間	読書時間	テレビ等	PC・スマホ	通塾率(%)	通塾回数(回)	回答者数(人)
1年	6:35	0:36	0:10	0:18	0:17	96	2:11	0:13	1:11	2:26	12.7	1.3	118

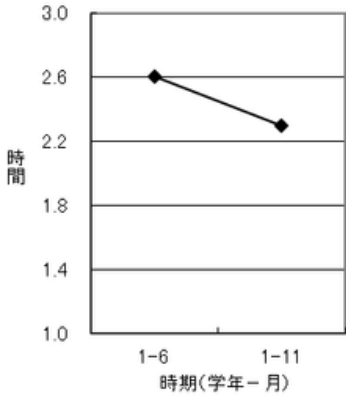
▲表1 各調査項目の平均値等  
時間は上の表は「〇時間△分」、下のグラフは「□時間」で表示した。



▲グラフ1  
1年次生11月学習時間 (年度比較)



▲グラフ2  
1年次生学習時間 (時期比較)

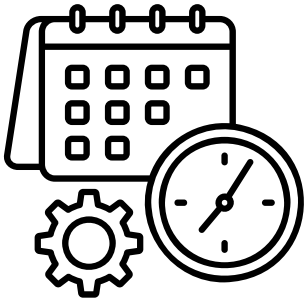



▲グラフ3  
1年次生スマートフォン等使用時間 (時期比較)

第2回生活時間帯調査の集計結果は表1のとおり。依然として平日の学習時間の確保が課題であるといえる。学習時間0と答えた生徒は28名おり、全体の24%で最も高い割合であった。試験直前にならないとなかなか学習へのモチベーションが上がらないのが現状のようだが、グラフ1からわかるように、現2、3年次生が1年次生だった時の同じ時期と比べると、現1年次生が明らかに勉強していない。このことが結果的に、期末考査の点数に表れているのではないだろうか。『なんといっても学習時間』である。学習のための時間を確保しなくてはならない。一方で、2時間以上の学習時間を確保している生徒が5%程度いる。普段からしっかり勉強しておくことで、ライバルに差をつけられるだけでなく、習慣として身に付けてしまえば受験期の猛勉強も苦ではなくなる。

また、最も気をつけてもらいたいのがスマホの使用である。SNSや動画サイトをついつい見てしまった時間は1時間、2時間…あっという間に過ぎてしまう。目先の楽しい物事について意識が向いてしまう人は自分を律する必要がある。さらに、スマホ依存に起因する体調不良や、SNSトラブルなどの弊害もあり、節度を持った使用を意識するように。前回調査(6月12日)との学習時間の推移をグラフ2に、スマホ等使用時間の推移をグラフ3に示す。期末考査の結果がでるこの時期、自分の家庭での過ごし方を振り返ってほしい。

**何のために勉強をするのか。**高校生にとって学習の目的は、単に上級学校へ入るためや就職するためだけではない。学習をとおして身に付けた知識、思考方法の蓄積によって、**社会を生きていく上で必要な『考える力』や『問題を解決する力』を身に付ける**ことにある。日々の授業を大切に、理解しようとする努力をしなければならない。



**冬季補習**

12月19日 (金) ~25日 (木)

出席確認	8:10
1校時	8:20~9:30 (70分)
2校時	9:45~10:55 (70分)
3校時	11:10~12:20 (70分)
清掃	12:20~

冬季休業中の5日間、1学年補習を実施します。学力養成へ向け、真剣に臨むこと。  
1学年全員参加です。学期中と同じように遅刻をしないよう登校すること。  
国語、数学、英語の3教科実施します。内容・準備物等は後日連絡します。

